



関西国際空港 2021年度出水期対応訓練を実施

～DIMSを用いた情報発信について検証します～

関西エアポート株式会社は、2021年6月25日（金）に関西国際空港において、出水期対応訓練を実施することをお知らせします。

今年度の訓練は、感染症流行時の台風直撃によりアクセス機関がストップし、空港利用者がオーバーナイトしなければならない状況を想定して行い、迅速な滞留者対応受付場所の設営に加えて、2021年3月に整備を終えたDIMS[※]（Display Integrated Management System）を始めとした、各種媒体を用いた複合的なお客様への情報提供についても検証します。

これらの訓練を通して、空港従業員の防災意識向上を図り、適切な対応要領を確認することで、空港の安全運用の確保につなげます。

関西エアポート株式会社は、引き続きお客様の旅を支える安全の確保と、空港を安心して利用いただくための環境づくりを進めてまいります。

※DIMS：空港館内のデジタルサイネージの情報を統合し、マネジメントするシステムです。DIMS対象のモニターを約900枚設置し、「人による案内からシステムによる案内への転換」をコンセプトのもと、あらゆる情報を一元管理し、お客様のニーズに応じた情報発信を行います。緊急時（災害時&イレギュラー）には、非常放送システムに連動した警告表示や、情報が集約されるKOC（KIXオペレーションセンター）より一元化でモニターへ緊急情報の配信を行うことが可能です。空港における大規模なディスプレイ統合システムとしては日本初導入となります。

【訓練概要】

日時：6月25日（金） 15:00～15:40

場所：第1ターミナルビル2階 新T1オペレーションセンター 暫定カウンター前
第1ターミナルビル1階 北側ウェルカムボード前

参加機関：関西エアポート株式会社

関西エアポートオペレーションサービス株式会社

計10名

訓練内容：滞留者対応受付場所設営訓練、情報発信訓練



滞留者受付場所設営（イメージ）



DIMSを用いた情報発信（イメージ）

【本プレスリリースに関するお問い合わせ先】

関西エアポート株式会社

グループコーポレートコミュニケーション部 パブリックリレーション

Tel：072-455-2201



関西エアポート株式会社は、オリックス株式会社と VINCI Airports（ヴァンシ・エアポート）を中核とするコンソーシアムにより設立されました。関西国際空港（KIX）および大阪国際空港（ITAMI）の運営を新関西国際空港株式会社から引継ぎ、2016年4月1日より両空港の運営会社として事業を開始しています。

また、2018年4月1日からは関西エアポート株式会社の100%出資会社である関西エアポート神戸株式会社が、神戸空港（KOBE）の運営を神戸市から引継ぎ、事業を開始しました。

“One 関西エアポートグループ”として、空港の安全とセキュリティを最優先に、適切な投資と効率的な運営によって国内外からの空港利用者へのサービスを強化してまいります。また、関西3空港の可能性を最大限に引き出し、地域コミュニティへの貢献につなげてまいります。

詳しくは、関西エアポートグループホームページ: www.kansai-airports.co.jp/ をご参照ください。

関西エアポート株式会社（関西国際空港および大阪国際空港の運営）

本社	大阪府泉佐野市泉州空港北1番地 大阪市西区西本町一丁目4番1号（登記上）	株主	オリックス40%、 ヴァンシ・エアポート40%、 その他の出資者20% ¹
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	関西国際空港および大阪国際空港の運営業務、管理受託業務等		

関西エアポート神戸株式会社（神戸空港の運営）

本社	兵庫県神戸市中央区神戸空港1番	株主	関西エアポート株式会社100%
代表者	代表取締役社長 CEO 山谷 佳之 代表取締役副社長 Co-CEO ブノア・リュロ		
事業内容	神戸空港の運営、維持管理業務等		



オリックスグループについて

オリックスは常に新しいビジネスを追求し、先進的な商品・サービスを提供する金融サービスグループです。

1964年にリース事業からスタートして隣接分野に進出し、現在では法人金融、産業/ICT機器、環境エネルギー、自動車関連、不動産関連、事業投資・コンセッション、銀行、生命保険など多角的に事業を展開しています。また、1971年の香港進出を皮切りに世界31カ国・地域に拠点を設け、グローバルに活動しています。

詳細は <https://www.orix.co.jp/grp/> をご覧ください。



世界有数の空港運営事業者であるヴァンシ・エアポートは、欧州、アジア、南北アメリカ大陸の12か国において45空港を運営しています。総合インテグレーターとしてのノウハウを駆使して空港の開発、資金調達、建設、運営を行うとともに、その投資能力と専門知識を活かした空港運営の最適化、施設改修、環境経営推進に取り組んでいます。

ネットワーク全体で2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロにするため、2016年から他の空港運営事業者に先駆けて国際的な環境戦略を展開しています。

詳細は www.vinci-airports.com をご覧ください。

¹ 株式会社アシックス、岩谷産業株式会社、大阪瓦斯株式会社、株式会社大林組、オムロン株式会社、関西電力株式会社、近鉄グループホールディングス株式会社、京阪ホールディングス株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社JTB、積水ハウス株式会社、ダイキン工業株式会社、大和ハウス工業株式会社、株式会社竹中工務店、南海電気鉄道株式会社、西日本電信電話株式会社、パナソニック株式会社、阪急阪神ホールディングス株式会社、レンゴー株式会社、株式会社池田泉州銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社京都銀行、株式会社滋賀銀行、株式会社南都銀行、日本生命保険相互会社、株式会社みずほ銀行、三井住友信託銀行株式会社、株式会社三菱UFJ銀行、株式会社りそな銀行、株式会社民間資金等活用事業推進機構